

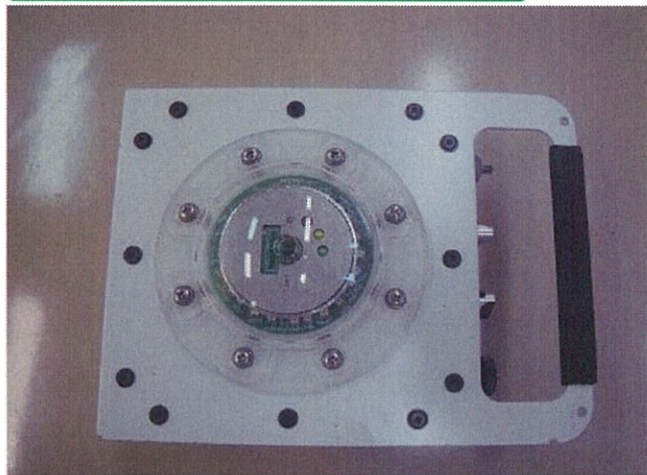
## 神津島空港夜間洋上訓練の実施

昨年末から本年2月にかけて、東京消防庁の夜間洋上訓練が実施されました。夜間洋上訓練とは、日没後の離島においてヘリコプターの離着陸訓練を行うものです。急病人の搬送などを想定して、視界の悪い夜間でもスムーズな運航ができるようにするものです。

神津島空港では夜間の照明設備がないため、滑走路上に非常用の着陸灯を並べることでヘリコプターのパイロットに対し滑走路の位置を知らせています。訓練自体は東京消防庁によるものですが、ヘリコプターを受け入れる側である空港管理事務所及び空港消防所の職員も実際の救急搬送などを想定し訓練に参加しました。

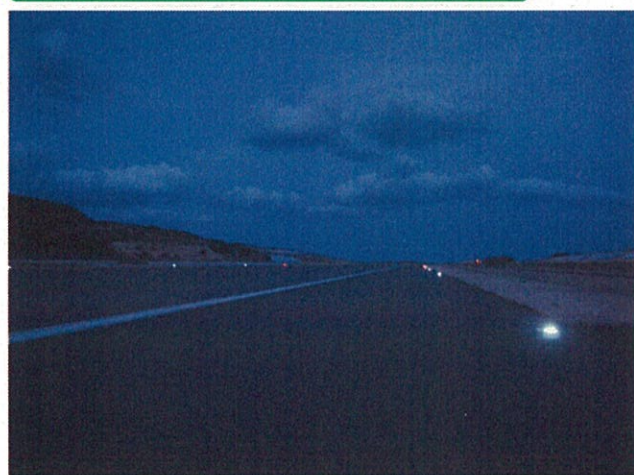
夜間洋上訓練は今後も実施していく予定です。島民の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。

着陸灯



・夜間に滑走路の位置を救急ヘリのパイロットへ知らせる着陸灯です。内蔵バッテリーにより任意の4色のLED電球を光らすことができます。重量は約3kgで、手で運搬できます。普段は倉庫に保管され、いつでも使えるように点検整備を行なっています。

滑走路（着陸灯設置時）



・救急ヘリの着陸時間が決まると、空港・消防職員が、滑走路上へ29個の着陸灯を決められた色を灯し、決められた位置に設置します。こうすることで、救急ヘリのパイロットは滑走路の位置を把握し、安全に着陸することが出来ます。

風向灯（照明点灯時）



・航空機が安全な離着陸を行うため、滑走路上に吹く風の強さや方向をパイロットが知るために吹流しが設置されています。風向灯は夜間でも視認できるように吹流しを照らすための照明です。

エプロン灯（照明点灯時）



・エプロン（駐機場・航空機の駐機場）を照らすための照明です。エプロンは、救急車で運ばれた患者を救急ヘリへ安全に乗せる場所となりますので、強力なナトリウム電球を使用しています。

## 神津小学生らの港湾工事見学会

11月21日水曜日、神津小学校の5～6年生を対象に港湾工事見学会を開催しました。9時30分にまっちゃ〜れセンター2Fに集合していただき、支庁が行っている港湾工事の説明と受注者による工事体験談などをお話しました。

その後、工事場所の広場に移動し、各学年3班に分かれて測量とコンクリート打設の2つの作業体験を行いました。測量体験は、工事現場で実際に使用している測量機械を操作し、距離と角度を測るというもので、子供たちは真剣な目でファインダーをのぞき、正確に距離を測れることのすごさに驚いたようでした。コンクリート打設体験では、ミキサー車から本物のコンクリートを運び、振動機を使って型枠にコンクリートを詰める作業を行いました。仕上げにきれいにできたコンクリート表面に記念の手形や名前を刻み、子供たちは「コンクリートが冷たくて気持ちいい」とはしゃいでいました。

当日は、天候にも恵まれて38名の生徒さんが参加していただき、当初90分の見学会を予定でしたが、学校側の計らいで1時間延長し見学会は無事終了しました。

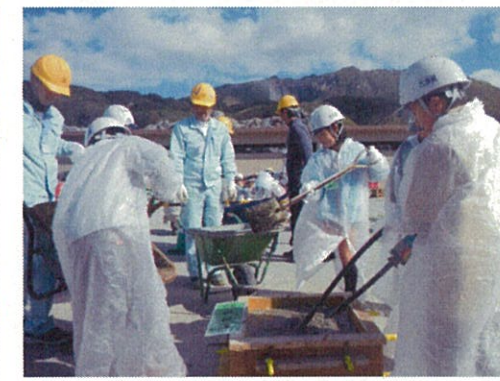
まっちゃ〜れセンターで工事の説明



測量体験



コンクリート打設体験



記念撮影



港湾・空港へのご意見・ご要望、ご質問は下記まで

◆大島支庁神津島港湾空港管理事務所

電話：04992-8-1311 FAX：8-1313

◆大島支庁神津島出張所港湾空港工事担当係

電話：04992-8-0311 FAX：8-0313